

令和7年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書
 神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。
 ※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	一般社団法人とえはたえ
団体の属性	<input checked="" type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等 <input type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成 <input type="checkbox"/> 協働モデル助成 <input type="checkbox"/> 協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	不登校児童生徒学習支援
事業の目的	不登校児童生徒の「学び」が継続的に行われるように、教育相談（オンライン含む）、および学習支援を行う。
事業概要	<p>目的：不登校児童生徒の「学び」が継続的に行われるように、教育相談（オンライン含む）、および学習支援を行う。</p> <p>概要：令和5年3月に一般社団法人を立ち上げ、教育関係全般へ支援活動をしている。その一環として、現在、港北区菊名、大豆戸、大倉山地区の不登校児童生徒を対象に週2回、学習支援をおこなった。</p> <p>名称：菊名和み塾</p> <p>日時：月（13~16）木（9~12）金（10~12）</p> <p>会場：月曜木曜は菊名和み塾 金曜は大豆戸町内会館（共に港北区大豆戸町）</p> <p>内容：不登校児童生徒への学習支援、教育相談（オンライン含む）。野外調理。買い物ツアー。PC壊し大会。ドローンファイトなど。</p> <p>対象：小学校4年生～中学校3年生</p>
成果や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小4（2名）、小5（5名）、中2（2名）、中3（1名）が通塾。月曜日午後、木曜日午前、金曜日午前に開室。金曜は町内会館を使用。 ・1回2時間程度の学習支援をおこなった。ドリル、問題集、工作、野外調理などを実施。 ・月毎に活動報告を在籍校へ提出。学校との連携により、出席認定も可能になった。 ・家庭、学校以外の「第三の居場所」として、機能している。 ・毎週金曜日は、町内会館を使用することにより、シニア層との交流も始まった。 ・課題であった、ボランティアの確保も、12人の応募があり、うち7名が活動している。
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・上記活動の継続 ・大豆戸町内会館を活用した、シニア世代との交流会 毎週金曜日 10~12時を予定 ・地域の民間事業所（PCデポ）と協働のプログラム作り （パソコンを壊す会、ドローンファイト大会、デジタルライブ教室などを開催）
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	